

過去10年間の農作業死亡事故発生状況について

令和8年2月6日
(福島県農業担い手課)

1 農作業中の死亡事故発生状況

本県における農作業死亡事故発生状況は図1のとおりで、年次により増減はあるものの、過去10年間の年平均発生件数は7件となっている。

また、年代別に見ると、65歳以上の割合が高く、農業者の高齢化に伴い、今後も高齢者による農作業事故の発生が懸念される。

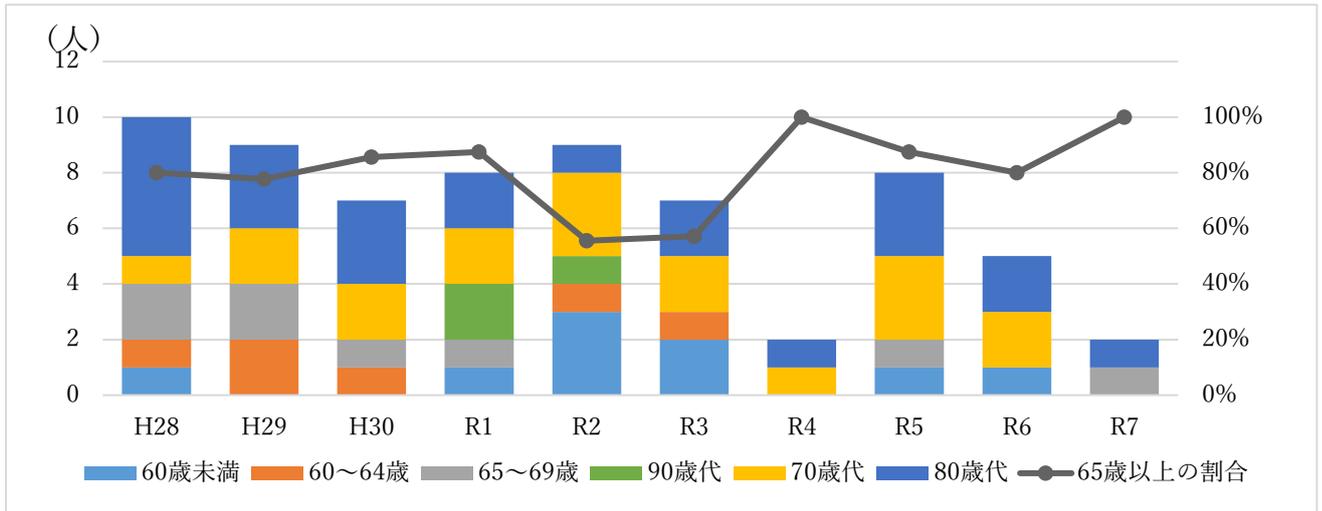


図1 農作業死亡事故年次・年代別発生状況 (H28～R7) ※調査は暦年で実施

2 農作業死亡事故発生状況について

事故の内訳 (図2) を見ると、機械、農機具に関連した事故が全体の約8割を占め、中でも乗用型トラクタによる事故が2割、次いで耕耘機、スピードスプレーヤーによる事故が2割を占めている。

なお、農機具関連以外は、熱中症が最も多く、約1割を占めている。

図2 農作業死亡事故機種別内訳 (H28～R7)

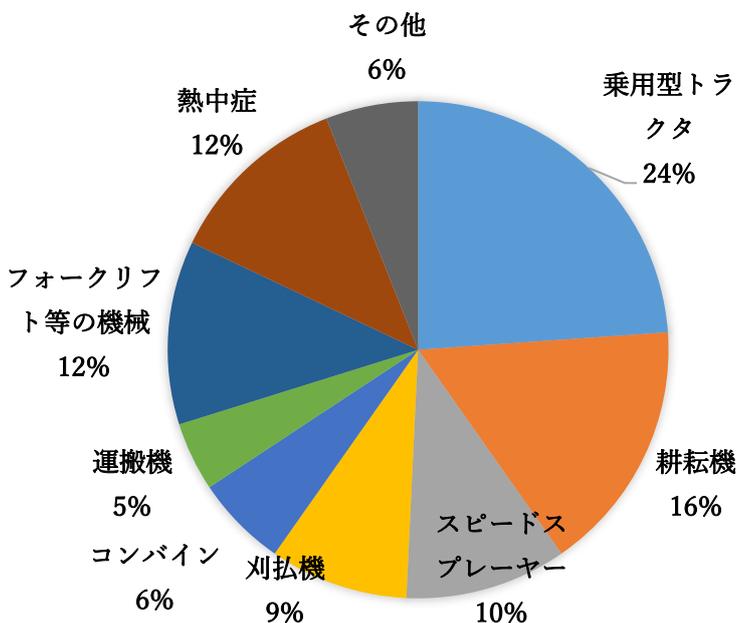


表1 農作業死亡事故機種別内訳 (H28～R7)

(単位：件、%)

事故区分	件数	割合
農業機械作業に係る事故	30	45%
乗用型トラクタ	16	24%
スピードスプレーヤー	7	10%
コンバイン	4	6%
運搬機	3	4%
農機具に係る事故	17	25%
耕耘機	11	16%
刈払機	6	9%
フォークリフト等の機械	8	12%
機械以外に係る事故	12	18%
熱中症	8	12%